

“ばかり”和“だけ”的异同辨析初探

王 鲁 奇

“ばかり”和“だけ”从语法分类上来看，同属副助词（有的语法书把它们归于提示助词），并且都有表示“限度、限定、程度”等意，有时意思相近。那么“ばかり”和“だけ”是否可以互换、什么情况下可以互换、什么情况下不能互换或难以互换、互换后意思将发生什么微妙变化呢？本文想就此问题进行一下探讨。不当之处，敬请读者批评指正。鉴于“ばかり”和“だけ”的用法较为复杂，下面让我们先从“ばかり”的实际用例来看一下。

はか

“ばかり”是由动词“量る”的名词形“量り”变化而来的，因此基本的用法之一是表示某种“程度”。例如：

- △ ヨツブの中に水が半分ばかり入っています。／杯子里有半杯（左右的）水。
- △ この本を十日ばかりお借りしたいと思います。／这本书我想借十天（左右）。
- △ 空港までニキロばかりあります。／到机场约有两公里。

上例“ばかり”是接在数量词后面表示大致的程度或限度，可以和表示程度的“ぐらい”“ほど”互换，基本意思不变。一般可译做“左右”。此外，“ばかり”还可以接在某些副词后面，含糊地表示较低的程度或较小的幅度例如：

- △ 少しばかりお待ちください。／请稍候片刻。
- △ ちよつとばかりほめられたからといって、いい気になつてはだめだ。／别稍受点表扬就洋洋得意。
- △ わずかばかりの時間をも惜しんで勉強する／抓紧点滴时间学习。

以上“ばかり”的两种用法都是“だけ”难以替换的。下面再看一下“ばかり”表示限定的用法。

A:

1. 火を使うことのできるのは人間ばかりだ。／会使用火的只有人类。
2. 長男は母乳ばかりで育てたのだ。／长子全是靠母奶哺育大的。
3. 顔ばかり美しくて、心がきたない。／光是脸蛋漂亮，内心却十分肮脏。
4. 父は弟ばかり連れて旅行に出かけた。／父亲只领着弟弟出去旅行了。
5. 彼は命令ばかりして、自分では何もしません。／他光下命令，自己却什么也不干。
6. あの犬は吠えるばかりで喰いつきはしない。／那狗光会叫，不咬人。

7. 団体が大きいばかりで何の取柄もない。／除了块头大，别无可取之处。
8. 時間を費やすばかりで、何の效果もありません。／徒费时间，毫无效果。
9. 今度ばかりは许そう。／饶你这一回。
10. 酒ばかりはやめられない。／唯有酒戒不了。
11. この病気ばかりは医者も直せない。／唯有此病医生也治不了。

B:

1. 集まつたのは老人か未成年者ばかりです、／集合起来的都是些老年人和未成年者。
2. 误解に満ちた記事ばかりだ。／净是些充满了误解的报道。
3. 閣議というのは大臣ばかりの會議です。／所谓阁议，是指完全由大臣参加的会议。
4. 聞えるものといつては、ただ罪人がほく微かな溜息ばかりです。／所能听到的只有罪人们发出微弱的叹息声。
5. 頂上には木が一本もありません。岩ばかりです。／山顶上一棵树也没有，全都是岩石。
6. あう人もみんな知らない人ばかりです／所遇之人都是些陌生人。
7. どれもこれも贋物ばかりです。／净是些冒牌货。

C:

1. やせたいと言つて、野菜ばかり食べていたんでは体によくない。／为了减肥而光吃蔬菜对身体并无好处。
2. 弟ばかり可愛がるので、腹が立つ。／总是偏爱弟弟，令人生气。
3. 每日家にばかり居る。そして本ばかり読んでいる。／整天呆在家里一个劲地看书。
4. 休みになると、ゴルフへばかり行きます。／一到休息总是去打高尔夫球。

D:

1. 余りの嬉しさに涙にむせぶばかりでした。／由于过于高兴，只是一个劲地抽泣。
2. 仲が険悪になるばかりです。／关系越来越紧张。
3. 泣いてばかりいないで、訳を話しなさい。／别光哭，把原因讲一下吧。
4. 反抗的にばかり親を見る。／总是不服气地看待父母。

E:

1. この機械は録音ばかりでなく、録画も自動的にできます。／这部机器不仅可以自动录音，还可以录象。
2. 英語ばかりでなく、フランス語もできる。／不仅会英语，还会法语。
3. 彼は同窓会の幹事で、会の準備ばかりでなく、司会も一人でやつた。／他是同窗会的干事，不仅会议的准备工作，就连主持会议也都是一个人干。
4. 彼は漢字が書けないばかりでなく、ひらがなもかたかなも書けない。／他不仅不会写汉字，就连平假名和片假名也不会写。

通过以上例句可以清楚地看出，同样表示限定的“ばかり”在用法上是有区别的。以上

例句中能用“だけ”替换而不改变其原意的大概只有A和E而例句E中的“ばかりでなく”从使用者的意思来看，一般不考虑“ばかり”和“だけ”的区别，只是把“ばかりでなく”当做“のやならず”的口语表达形式罢了。如果除去E的用法，那就只剩下A可以用“だけ”来替换而不改变其基本原意了。为什么B、C、D 难以用“だけ”替换呢？下面让我们来具体分析一下。

从具体用例中我们可以看出，B组中“ばかり”的用法，是表示“在某一场合或某一条件的范围内无一例外”之意。相当于日语“その場合や条件の范围内では、どれもこれも。みんな。すべて。”之意而C组中的“ばかり”则表示“在某一时候总是……、经常……”之意。相当于日语“その時にはいつも。常に。その場合にはもつばら。それ専門に”。至于D组的“ばかり”则又不同于B、C组的用法，而表示出某种动作或状态单方面地进行，带有一种趋势性，有“越来越……”之意。相当于日语“その状态、動作に限つて一方的にする。……する一方だ”之意。

基于“ばかり”的内含之意不同，所以B、C、D组的“ばかり”是难以用“だけ”替换的。正象绘画中用同一颜色涂抹的部分在一定范围内会自然地和其它部分的颜色区别开来一样，“ばかり”是在限定的范围内显示出某种同样的状态。这和单独列出一点的“だけ”相比，虽然同样表示“限定”，但“ばかり”是表示在某一限定范围内如何如何，而“だけ”则具有强烈的排它作用。

当然，A组中“ばかり”的用法也并非完全一样。如果更加严密地分析一下A组中例句就会发现其中还具有能继续细分的因素。这样一来，A组中只剩下了1、2、3、4、等几个例句。至于例句5、6、7、8中如果没有

- * 自分では何もしません。
- * 嘉いつきはしない。
- * 何の取り柄もない。
- * なんの效果もない。

等否定呼应的补充说明，那么“ばかり”在句中是难以完全独自担当起全句的限定之意的。此外 9、10、11句中的“ばかり”虽说也是表示“限定”之意。但却没有什么明确的实质性的限定做用，因为在9、10、11句中即使不使用“ばかり”也并不影响整个句子的基本意思，因此，与其说是“限定”，倒不如说是表示“强调”更为合适。

“ばかり”除了上述用法之外，还有以下的用法：

F：用《～ばかりに》的形式表示原因。

△ あなたが大声を出したばかりに子供が泣きだしてしまった。／就因为你大声咋呼，孩子才哭了起来。

△ 私が教えてやらなかつたばかりに 彼はとんだ失敗をしてしまった。／只由于我没告诉他，他才遭到了意外的失败。

△ 金がないばかりに、今度の旅行には行かれない。／只因无钱，这次无法去旅行。

G：用《～ん(ぬ)ばかりに(の)》的形式，表示即将发生的某种状态。

△ すつかり準備がおわって、旅行に出かけるばかりになつています。／一切准备停当，即将出去旅行。

△ 田中さんは泣き出さんばかりの顔でたのみに来た。／田中哭丧着脸来求我。

△ 山田さんは胃が疼いといって死なんばかりに苦しんでいる。／山田说他胃疼，难受得要死。

H: 用《～とばかりに》的形式，用于嘴上虽然不说，却用动作来表达的場合。

△ 私が話しかけたら、彼はいやだとばかりによこを向いてしまつた。／我和他打招呼，可他却不耐烦（讨厌）地把脸转向一边。

△ 子供は母さんに嬉しいとばかりにだきついた。／孩子高兴地抱住了母亲。

I: 用《～たばかり》的形式表示某种动作刚结束不久。

△ まだ着いたばかりで、この辺の地理が全然わかりません。／因为刚到，对这一带的地理情况一无所知。

△ これは昨日買つたばかりの洋服です。／这是昨天刚买的西服。

以上“ばかり”的用法，都是“だけ”无法替换的。因其用法不易混同，在此就不一一叙述了。下面我们再来看一下“だけ”的用法

a.

1. ほしいだけ持つていらつしやい。／你想要多少就拿多少。

2. これだけあれば十分です。／有这个就足够了。

3. これだけの作品を制作する人は日本にもざらにいない。／能制作这样的作品的人在日本也很罕见。

4. この問題に関心を持つている人がどれだけあるだろうか。／对此问题表示关心的人究竟有多少呢？

5. どうぞ、すきなだけめしあがつてください。／您喜欢吃什么就请吃什么。

b.

1. 自分の力だけでは、とうていだめだ。／仅凭自己的力量无论如何也办不到。

2. 国鉄だけに頼つていられない。／不能只靠国营铁道。

3. 第一印象だけできめてかかるのは危険だ。／仅凭第一印象就贸然从事是危险的。

4. たんに足を傷づけただけです。／只不过是伤了脚。

5. ただ趣味でやつているだけなんです。／只不过是在凭兴趣干。

6. 一枚だけでいいから。／有一张就行了。

7. その中に一つだけ私は無上の満足を感じることがある。／其中只有一件事使我感到最大的满足。

c.

1. そうやさしいものじやないというだけです。／我只说问题并非那么简单罢了。

2. 今晚だけです。／只限今天晚上。

3. ここだけの話だ。／这话只能在这儿说。

4. ただ持つているだけなら無いも同じです。／如果只是持有（而不用）的话，那和没有一样。

A组例句中的“だけ”是表示了某种程度，b组和c组是表示了限定。那么表示限定的b、c组能否用“ばかり”来替换呢？当然这要具体分析才行。b组中的1、2、3可以用“ばかり”替换，而且句子也通，但是意思稍有改变。不如“だけ”的限定范围清楚。例句4用“ばかり”替换后则意思完全改变。成了“ばかり”的用法。至于5、6、7则无法用“ばかり”替换。因为“ばかり”无法接在表示“一”的数量词后面。（“一后面的量词不是最小单位时除外。如“一周間”“一ヶ月”“一年間”等则可以后接“ばかり”表示幅度、左右。”

下面再看一下C组。刚才我们在分析“ばかり”时曾提到“ばかり”是表示在某范围内全都如此，即所谓的肯定性的限定。与此相反，“だけ”勿宁说具有强烈的排它意识和否定之意。因此，在具有强烈排它意思的句子中“だけ是难以用“ばかり”来替换的。至于a组中的“だけ”里除了某些惯用化了的用法，一般还是难以替换的。例如：

- こればかりのことで泣くなんて、みつともない。／只是为这么点小事就哭鼻子，真没出息。
- そればかりでは足りまい。／光凭那么点大概不够吧。
- 形ばかりの葬式。／徒具形式的葬礼。

但是用“ばかり”替换后略带一点瞧不起的语气。除此之外，a组例句也可以说是“だけ”不同于“ばかり”的另一用法。

就“だけ”的用法来看，a组的用法最早，而b、c的用法大致是明治以后才得以广泛使用的。随着“だけ”的用法增多，又逐渐地产生了表示极限的用法。例如：

d

1. さがせるだけさがしてみよう。／尽可能找找看。
2. 出来るだけ英語を使わいでください。／请尽量不要使用英语。
3. とれるだけとるというのでは早晚絶滅してしまう。／如果能捕多少就捕多少的话，早晚会被捕光的。
4. あの人はお金がある時にはあるだけ使つてしまう。／那人有钱时总是统统花光。
5. ありつたけ、渡してやつたんだ。／尽其所有都给了他。

d组例句中显示出了强调程度的极限这一性质，同时也构成了区别于“ばかり”用法的又一特点。d的用法进一步发展，又派生出了下列习惯用法。

e

1. 心配しているだけそれだけ文句も多くなる。／越是担心，牢骚也就越多。
2. むずかしいだけ、それだけ張り合いがある。／越难越有干头。
3. 言えば言うだけ收拾がつかなくなります。／越说越无法收拾。
4. 値段が高ければ高いだけ品物もよくなる。／价钱越高，东西越好。

f

1. 高いだけのことはあつて、味は申し分ない。／不愧是价钱高。味道真没说的。
2. 専門家だけあつて、処置にむだがありません。／不愧是专家，在处理上无可挑剔。
3. 日本人が自慢するだけあつて、さくらの花は美しい。／无怪乎日本人民引以自豪，

1. 年を取つてゐるだけに、父の病氣は直りにくい。／正因为上了年纪，父亲的病才难以痊愈。
2. 試験の前だけに風邪を引かないように気をつけてください。／正由于面临考试，所以要注意别感冒了。
3. 予期しなかつただけに、喜びは大きかつた。／正因为出乎预料，以至非常高兴。

以上所列的惯用法，归根结蒂，是提示出某一事物程度的极限。因为“ばかり”没有表示极限这一用法，所以以上“だけ”的用法是无法由“ばかり”来替换的。顺便提一下，“ばかり”的F组用例和“だけ”的g组用例中，“ばかりに”和“だけに”都可以表示前项是后项的原因，相当于汉语的“正因为……”之意，但其用法却不尽相同。通过例句我们看出，“ばかりに”所导致的结果，是违背说话者的本意的，含有不满或遗憾的语气。所以“ばかりに”只用于前项的原因导致后项出现坏结果的场合。而“だけに”则不同。一般来说，“だけに”的后项是前项事物的自然发展或正常的结果，不存在是否符合说者本意的问题，有时“だけに”可以省略“に”而只用“だけ”意思不变。

总之，“ばかり”和“だけ”虽然同样能表示程度及限定之意，但由于其出发点及限定范围不同，时常表现出几乎相反的态度。此外，就其产生的年代来看也是不同的。“ばかり”，的用法出现于上代，《万叶集》中已见其踪迹，而“だけ”做为助词一直到江户时代还是鲜见的，自从明治时代以后才开始崭露头角。换言之，“だけ”所表示的明确的限定用法，是符合明治以后口语的潮流和思维方法的。在目前日本年青人中，对待同一事物则多倾向于采用“だけ”，而“ばかり”更具有日语的“暧昧性”这也许是“ばかり”和“だけ”意思不同的原因之一吧。

参考文献

- 《古典语，现代语助词助动词详说》松村明编 学燈社
《外国人のための基本语用例辞典》文化厅
《日语助词新探》王宏 上海译文出版社
《てにをは隨想(7)》阿刀田稔子 日本语教育研究第4号
《学研国语大辞典》学习研究社等。